

リンゴ黒星病の開花期前後の防除を遅れずに実施

～ りんごの開花時期がかなり早まる予想 ～

1. 現在までの発生状況と今後の発生予想

かづの果樹センター（鹿角市）では、‘ふじ’の展葉期が4月7日（平年差－14日）で、開花予想日は4月26日（平年差－14日）となっている。

果樹試験場（横手市）では、‘ふじ’の展葉期が4月2日（平年差－13日）で、開花予想日は4月23日（平年差－12日）となっている。

黒星病の子のう胞子の初飛散確認日は、かづの果樹センターが4月7日で平年（過去6年平均）より7日早く、果樹試験場が4月7日で平年（過去4年平均）より3日早かった。

4月13日に仙台管区気象台から発表された1か月予報によると、向こう1か月の気温は平年より高い、降水量はほぼ平年並と予報されている。

以上のことから、子のう胞子の新葉への感染時期は早まると予想されるため、発病葉の摘み取りや開花期前後の薬剤防除を遅れずに実施し、生育初期の感染を抑制する必要がある。

2. 防除対策

1) 耕種的防除

園地をよく観察し、発病葉は見つけ次第摘み取り、適切に処分する。

2) 開花期前後の防除薬剤（表－1）

① 開花直前

保護殺菌剤[※]にDMI剤（RACコード：3）を加用するか、これらの混合剤を使用する。ただし、前年に黒星病の発生があった園地では、保護殺菌剤[※]にSDHI剤（同：7）のカナメフロアブルを加用して使用する。

② 落花直後

保護殺菌剤[※]にDMI剤を加用するか、これらの混合剤を使用する。ただし、前年に黒星病の発生があった園地では、保護殺菌剤[※]にユニックス顆粒水和剤47（同：9）又はミギワ20フロアブル（同：52）を加用して使用する。DMI剤の使用は、耐性菌の発現を回避するため、年2回以内とする。

※保護殺菌剤…ジチオカーバメート剤（同：M3）、キノン剤（同：M9）

3) 散布の注意点

- ① 開花期前後の散布間隔は10日以内とする。散布予定日に降雨が予想される場合は降雨前に散布する。
- ② 散布液量はりんごの生育量に応じて調節し、散布むらのないよう丁寧に散布する。

3. 資料

表-1 りんごの黒星病の防除薬剤（4～5月）

RAC コード	農薬名	希釈倍数	散布時期	本剤の 使用回数	各成分の 総使用回数
M9	デランフロアブル	2,000倍	芽出し10日後～落花10日後	3回以内	3回以内
7	カナメフロアブル	4,000倍	開花直前	3回以内	3回以内
7	ネクスターフロアブル	1,500倍		3回以内	3回以内
7	フルーツセイバー	2,000倍		3回以内	3回以内
52	ミギワ20フロアブル	4,000倍	落花直後	3回以内	3回以内
9	ユニックス顆粒水和剤47	2,000倍	落花直後～落花20日後	4回以内	4回以内
3	アンビルフロアブル	2,000倍	開花直前及び落花直後	3回以内	3回以内
3	サンリット水和剤	2,000倍		3回以内	ア
3	オーシャイン水和剤	3,000倍		5回以内	5回以内
3	サルバトーレME	3,000倍		3回以内	3回以内
3	スコア顆粒水和剤	3,000倍		3回以内	イ
3	トリフミン水和剤	3,000倍		3回以内	3回以内
3	ラリー水和剤	3,000倍		3回以内	ウ
3	ルビゲン水和剤	3,000倍		3回以内	3回以内
3	オンリーワンフロアブル	4,000倍		3回以内	3回以内
3	インダーフロアブル	10,000倍		3回以内	3回以内
M3・3	スコアMZ水和剤	500倍		3回以内	イ エ
M3・3	ブローダ水和剤	500倍		3回以内	ウ エ
M3・3	テーク水和剤	600倍		3回以内	ア エ
M3	アントラコール顆粒水和剤	500倍	開花直前及び落花直後	4回以内	4回以内
M3	チオノックフロアブル	500倍	から落花25日後頃まで	5回以内	オ
M3	トレノックスフロアブル	500倍	10日ごとに3回	5回以内	オ
M3	ジマンダイセン水和剤	600倍		3回以内	エ
M3	ベンコゼブ水和剤	600倍		3回以内	エ

RACコード 3：DMI剤 7：SDHI剤 9：アニリノピリミジン剤
52：DHODHI剤 M3：ジチオカーバメート剤 M9：キノン剤

ア：シメコナゾール（3回以内）

イ：ジフェノコナゾール（3回以内）

エ：マンゼブ（3回以内）

ウ：マイクロブタニル（3回以内）

オ：チウラム（5回以内）

【 問合せ先 】

秋田県病害虫防除所 TEL 018-881-3660

秋田県果樹試験場 TEL 0182-25-4224

かづの果樹センター TEL 0186-25-3231

掲載HP <https://www.pref.akita.lg.jp/bojo/>